



市政に対する 一般質問

そこが... 聞きたい

一般質問は、提出議案以外の市政全般にわたり事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に尋ねるものです。今期定例会では、十三名の議員によって三日間にわたり行われました。主な質問と答弁の主旨は次のとおりです。

ごみの減量について

河田 晃明議員

・質問 次の点について伺いたい。

彩北広域清掃組合の現在の状況について

ごみ減量のためにどのような施策を講じているか。

市民みずからごみ減量に取り組ませる働きかけについて

・答弁(経済環境部長)

彩北広域清掃組合のごみ処理施設整備計画は、市町村合併の破綻、機種選定の問題などにより一時凍結をしていたが、管理者である行田市長から凍結を解除し、平成十七年度に整備計画書の作成、十八年度に建設着工したい旨の発言があった。

吹上町の去就の問題もあるため、動向を見守っていくことである。

とになるが、現施設の維持管理には万全を尽くしていく考えである。

羽生市のごみの量は、年々増加しており、この増えつづけるごみ排出量を抑制し、循環型社会の構築を図ることが大きな課題になっている。

市としては、広報やチラシなどによるごみの出し方、分け方やリサイクル推進のPR、クリーン推進員制度、環境講座の開催、資源ごみ報奨金、たい肥化推進の機器購入費補助、買物時のマイバッグ使用ごみゼロ市民運動の実施などの取り組みを進めてきたところである。

家庭でできるごみ減量としては、生ごみ処理機を使用し

て、たい肥化する方法がある。市としては、生ごみ処理機や生ごみ処理容器の購入に対して補助金を出しており、ごみ減量のために、今後この補助事業をPRすることににより推進していきたい。

ごみの減量化は、ひとつひとつの地道な活動が循環型社会の形成に結びついていくものと認識し、市民の皆さんの協力のもとに、一体となって取り組んでいきたいと考えている。

その他の質問

- ・日本一の学校紹介
- ・介護保険の現状と課題について
- ・国指定天然記念物宝蔵寺沼ムジナモの保存について



きれいに分別されたごみ集積所

審議案件と

その結果

(十二月定例会市議会)

議員提出議案

十二月二十一日 原案可決

議案第七号議案 郵政事業の現行経営形態を堅持する意見書

議案第八号議案 「人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める意見書

市長提出議案

十二月三日 原案可決

議案第六十号 埼玉県市町村職員退職手当組合規約の一部変更の協議について

議案第六十一号 平成十六年度羽生市一般会計補正予算

第四号

議案第六十二号 平成十六年度羽生都市計画事業南羽生土地区画整理事業特別会計補正予算 第二号

議案第六十三号 平成十六年度羽生都市計画下水道事業特別会計補正予算 第二号

議案第六十四号 平成十六年度羽生市水道事業会計補正

予算 第一号

議案第六十五号